

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドタワー
代 表 者 名 代表取締役 会長兼社長 CEO 藤原 洋
(コード番号 3776)
問 合 わ せ 先 常務取締役 法務・経理統括 中川 美恵子
(TEL. 03 - 5202- 4800 代)

新データセンター開設計画に関するお知らせ

記

1. 新データセンター開設計画について

当社は、データセンターとしては、第 3 世代に相当する、専門型インターネット・データセンター事業者の草分けとして 2000 年に創業し、インターネット・インフラを活用する Web サービス事業者向けの情報通信インフラを提供してきました。さらに、第 4 世代データセンターの進化を先導し対応してきましたが、いよいよ、インターネットの利用形態は、さらなる非連続的な転換点を迎えました。

そこで、このたび、業界に先駆けて、第 5 世代データセンター開設のために、日本のインターネット・インフラの集積拠点としての大手町地区に、国策として建設される施設建築物の 1 フロアを利用するための競争入札に参加しました。この結果、当社が当該フロアを落札し、新データセンターの開設の計画に着手することといたしました。なお、詳細につきましては、予約契約を締結した後、正式な契約締結に関する当社取締役会承認を経て開示いたします。

データセンターは、インターネット以前に、第 1 世代（メインフレーム・データセンター、情報サービスのアウトソーシングサービス）が登場しました。そして、インターネットが登場し、第 2 世代（ISP 型データセンター、インターネット接続事業者〔ISP〕が Web サービス事業者向けコロケーションサービス）、第 3 世代（IX〔インターネット・エクスチェンジ：ISP のトラフィック交換点〕直結専門型インターネット・データセンター、ポータルサービス事業者向け）、第 4 世代（IX 直結型インターネット・データセンター、SNS サービス事業者向け）へと進化してきました。当社は、日本初の第 3 世代データセンター事業者として 2000 年に創業し、2005 年 8 月に株式上場を果たしました。その後、インターネット・インフラの進化と共に、第 4 世代データセンター時代に対応してまいりました。

この間、インターネット・インフラは、電話に代わり、情報通信インフラの進化を先導する役割を果たすようになりました。一方、情報通信インフラは、当社の創業時から、電話と固定通信に代わって、モバイル（移動通信）通信システムが、主役となりました。2020 年に向けて 5 G（第 5 世代）時代を迎えようとしています。5 G は、4 G と技術と利用対象の両面で非連続的な転換点に立っています。4 G の利用対象は、スマートホンでしたが、5 G の利用対象は、IoT となります。すなわち、4 G までは、人間のための情報流通の仕組みでしたが、5 G は、人間だけでなくモノ（あらゆる機器、センサーなど）を含む仕組みを提供するものです。この情報通信インフラの進化とインターネット利用対象の進化は、完全に同期しており、この時代の変化に対応するために 5 G データセンターの整備が必須となっています。

このような情報通信インフラの進化とインターネット利用対象の進化の非連続的な転換点を迎え、当社は、業界に先駆けて、5G データセンターを新たに開設することといたしました。

5G（第5世代）データセンターとは、5G モバイルなど IoT を利用対象とする情報通信インフラに対応したデータセンターで、アクセス網としての超高速（10Gbps）・超低遅延（1msec）・超多地点同時接続（100 万点/km²）仕様に対応するために、最適な IX 接続環境・クラウド接続環境・エッジ*接続環境を提供するデータセンターを意味しています。

情報通信産業は、約 90 兆円の GDP を稼ぎ出す日本経済の基幹産業の 1 つです。当社は、この新たな 5G データセンターを、当社の得意とするインターネット技術を基本に、IX 直結サービスをさらに強化すると共に、日本の情報通信産業を担う多くの企業と連携し低 PUE**を実現する、新世代都市型データセンターを目指します。当社は、この業界に先駆けた 5G データセンターの開設によって、さらなる情報通信産業全体の成長に貢献したいと考えております。

* エッジ

エッジコンピューティングの略で、ユーザーの近くにエッジサーバを分散させ、距離を短縮することで通信遅延を短縮する技術です。スマートフォンなどの端末側で行っていた処理をエッジサーバに分散させること。エッジは、集約的にサーバを配置するクラウドに比べて通信遅延が最大 100 分の 1 と短くなり、端末負荷を軽減できるほか、センサー情報など膨大なビッグデータ処理に対応可能な IoT 向きのコンピューティング方式です。

** PUE (Power Usage Effectiveness)

データセンターに於ける電気効率を示す指標の一つで、「PUE＝データセンター全体の消費電力（IT 機器・空調・照明などを含む） / IT 機器による消費電力」にて算出し、1.0 に近いほど電気効率が良いとされ、従来の都市型データセンターでは 1.5～2.0 の PUE 値が一般的です。

2. 新データセンター開設計画の概要

(1) 施設名	(仮) 千代田区新データセンター
(2) 所在地	東京都千代田区
(3) 建物構造	ハイブリッド制震構造
(4) データセンター面積	約 3,000 m ²
(5) 設置可能ラック数	約 750 ラック
(6) 受電方式	特別高圧 66kV
(7) 発電機給電時間	約 72 時間

* 施設仕様の詳細、設備投資金額等、現段階では未定であります。

3. 日程（予定）

(1) 取締役会決議	2018 年（平成 30 年）7 月予定
(2) 開設予定日	2018 年（平成 30 年）8 月中

4. 今後の見通し

今期の業績に与える影響は軽微です。